令和５年度　鹿児島学習定着度調査結果について

５年生を対象に令和６年１月１６日（火）と１７ 日（水）に令和５年度鹿児島学習定着度調査を実施しました。

この調査は，基礎的・基本的な知識及び技能や思考力，判断力，表現力等に関する学力の状況を把握するとともに，全県的な傾向との比較・分析などを通じて，自校の課題を明確にし，問題解決的な学習活動を取り入れるなど，指導の方法を改善し，児童の学力向上を図ることを目的として実施されています。

本校の５年生の結果は次のとおりでした。

１ 自校・県の平均通過率の比較

【参考：令和６年２月５日現在の県速報値】

	国語	社会	算数	理科
本校通過率（%）	７１．２	７２．８	７７．１	７２．９
県平均通過率（%）	６８．５	６５．３	７４．６	７５．２
県との差	（＋２．７）	（＋７．５）	（＋２．５）	（－２．３）

２ 課題と改善策

①　国語

課　題	改善策
・　熟語（漢字）の意味の理解 （以外と意外） ・　主語，述語，修飾語の選択，関係性 ・　つなぎ言葉（接続詞）の理解 ・　資料の活用，読み取り ・　条件に合った作文が書けていない。 ・　文章や問題文，条件を理解して解いていない。	○　初見の文章問題への対応（いろいろな問題に取り組む） ○　文章を読んで，自分はどう考えるか意見をまとめる力の育成 ○　資料活用能力（様々な資料からの読み取り，まとめる力）の育成 ※　問題文の音読，キーワード・条件への下線引きの習慣化 ※　複数の資料を集められるように，ICT 機器や図書資料，新聞等，幅広く情報を集める時間の設定 ※　資料を集め，どの資料でどんな内容が説明できるかを，小グループで検討する時間の設定 ※　どの資料のどの部分を根拠としているか，また，伝えたい内容が書かれているかを観点にし，文章を推敲させる。 ※　振り返りの重視（書く力の育成）

②　社会

課　題	改善策
・　三つ大きな海洋・大陸の理解 ・　日本の位置の説明 ・　鹿児島と新潟の雨温図の比較 （各地の気候の特色の理解） ・　方角の理解（八方位） ・　地図記号の理解（畑） ・　グラフの単位の見落とし （正９００万トン → 誤９００トン） ・　農業分野の通過率が低い。	○　資料活用能力の育成（資料を選択したり，資料から分かることをまとめたりする力） ※　人々の生活と環境を学習する中で，その土地の気候の特色を捉えさせる。 ※　雨温図では，読み取り方のポイントを確認しながら学習する。（算数におけるグラフの学習を生かし，他教科でもグラフの特徴を読み取ることができるようにする。） ※　気温と降水量の関係から，その場所の気候にはどんな特徴があるのかをまとめたり，他の場所の気候と比較したりするなどして定着を図る。

③　算数

課　題	改善策
・　図形の念頭操作ができない。 ・　四角形や四角形の対角線の性質の理解 ・　単位量当たりの大きさの理解 （抽象的な数の捉え・立式） ・　資料の読み取り	○　ドリルやタブレット等を活用しながら，当該学年での学習内容の確実な定着を図る。 ※　図形の面積を求める際に，図形を構成する要素などに着目して，既習の求積可能な図形の面積の求め方を基に考えたり説明したりする活動を取り入れる。 ※　縦軸の目盛りが違う２つのグラフを作成したり，特徴を読み取ったりする活動を積極的に取り入れる。 ※　いろいろな特徴がある図形について，底辺と高さとの位置関係を考えたり，式が何を表しているかを児童相互に読み取り，互いの考えを発表し合ったりする活動を取り入れる。

④　理科

課　題	改善策
・　実験の条件制御の理解 ・　実験で何が分かるのかについての理解 ・　電池の向きで変わる等，電流の流れる方向の理解 ・　水を冷やした時の水の変化（水の三態）と温度変化の関係の理解 ・　温度による溶ける量の違いについての理解 ・　問題文からどの資料を選んで解答すればよいか分かっていない傾向がある。（資料から解答を選択できていない。）	○　仮説に対する結果の見通しを考える力の育成 ※　実験や観察を行う際，児童に見通しをもたせ，理科の見方・考え方を十分に働かせることができるようにする。 ※　予想の際に根拠を問うことで，互いの考えの違いを明確にし，どこに着目して観察，実験を行えばよいのかを確認することで，主体的に観察，実験を行えるようにする。また，予想をさせる際に，絵や文字で表す等，視覚化するよう促す。